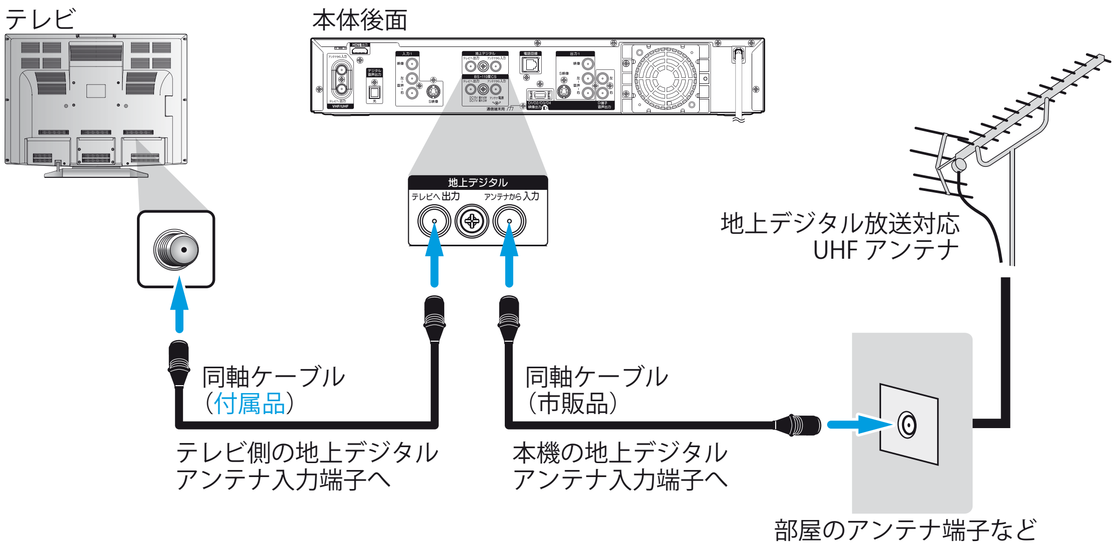
接続する

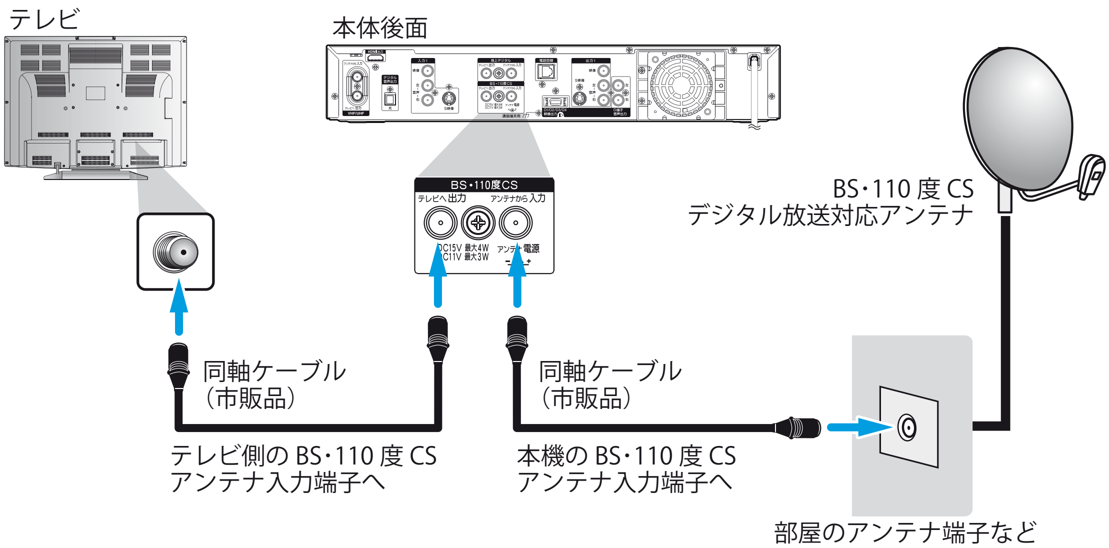
接続を始める前に

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

◉地上デジタル放送を見るときの基本接続



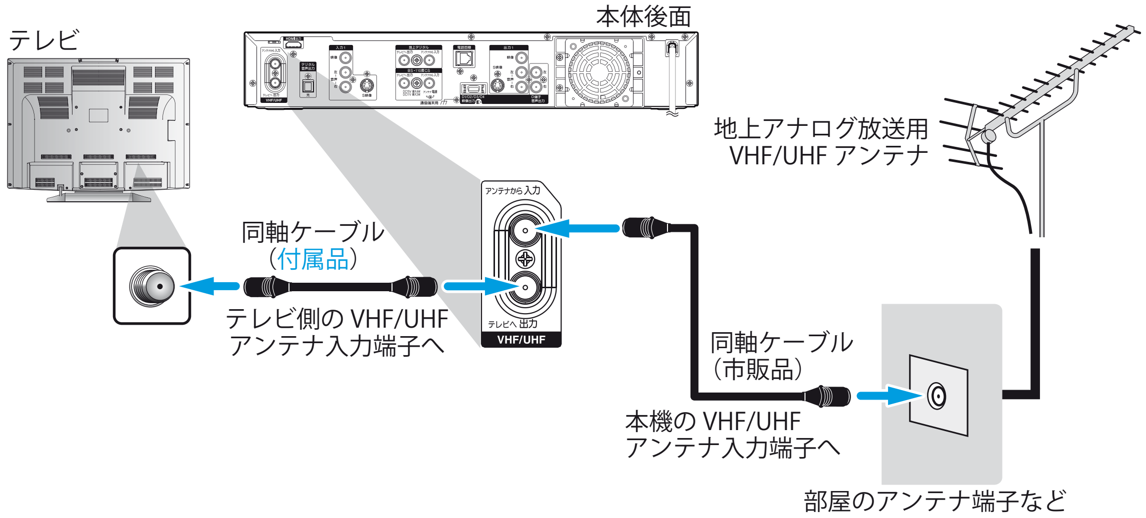
◉BS・110度CSデジタル放送を見るときの基本接続



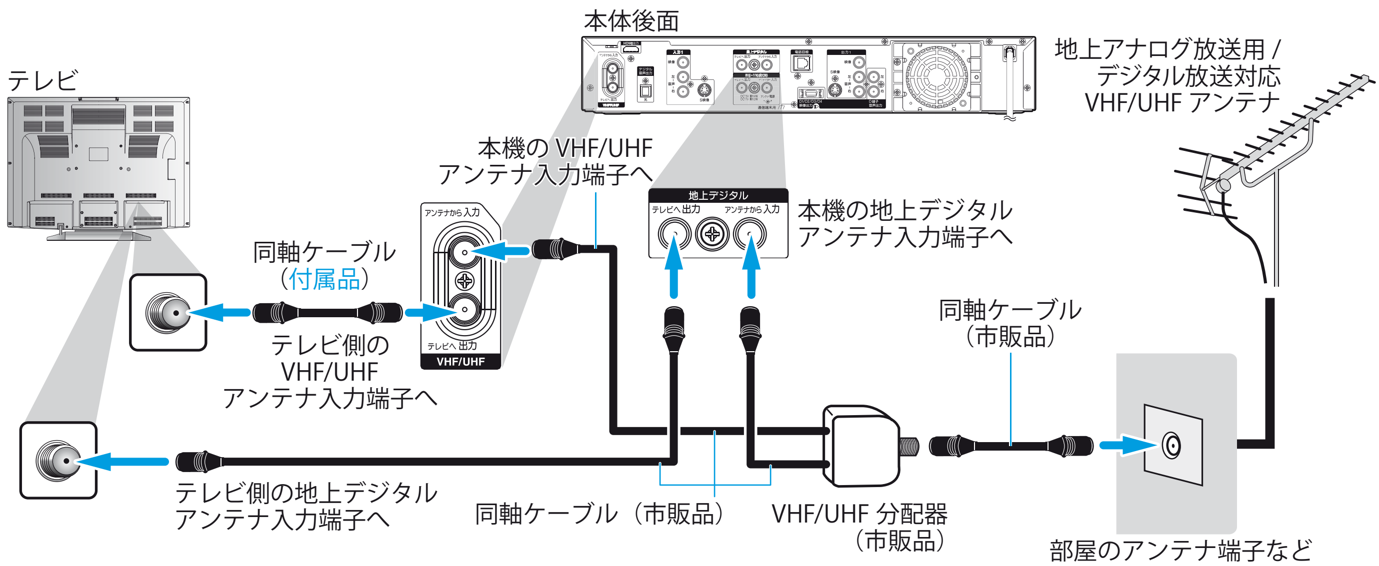
Point

- アンテナの設置方法についてはアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送を視聴するときは、専用のアンテナをご使用ください。
- お使いのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は異なります。
- アンテナ線の種類により、変換器付きプラグ(市販品)やU/V混合器(市販品)が必要です。
- アンテナ線の加工や取り付けかたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電波が弱い地域の場合、アンテナブースター（市販品）をご使用いただくことにより、電波の強さを全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

◉地上アナログ放送を見るときの基本接続



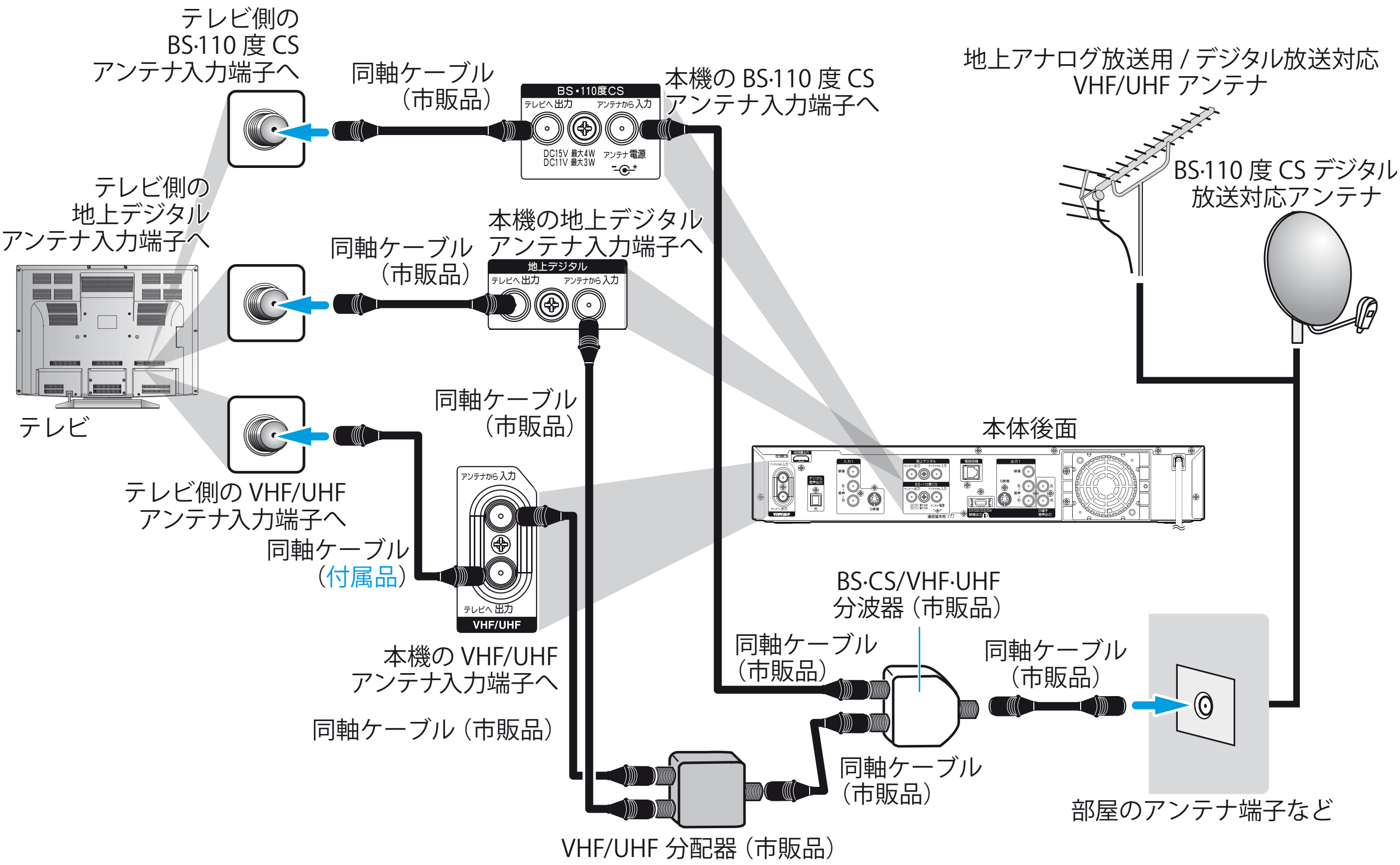
◉地上アナログ/デジタル放送対応VHF/UHFアンテナから 地上アナログと地上デジタルを個別に受信するときの基本接続



Point

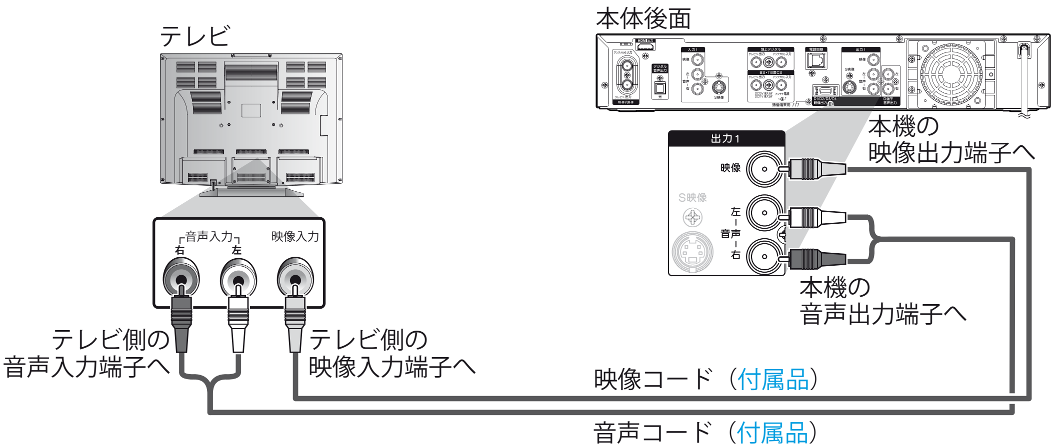
- 本機にはVHF/UHF（アナログ用）、地上デジタル用、BS・110度CS用の3つのアンテナ端子があります。接続を行うときは正しい端子に接続されているかご確認ください。
- 電波が強すぎて映像が不安定になったり、映像や音声が妨害される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、今まで使用してきた地上アナログのUHFアンテナで視聴できる場合もありますが、地域によってはアンテナの取り換えや方向の変更、デジタル放送対応のブースターや混合器の設置などが必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送が開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信エリアが限定されます。
- 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。

◉地上アナログ、地上デジタル、BS・110度CSデジタルの混合アンテナ端子から それぞれ個別に受信するときの基本接続



◉映像/音声入力端子付きテレビに本機を接続するときの基本接続

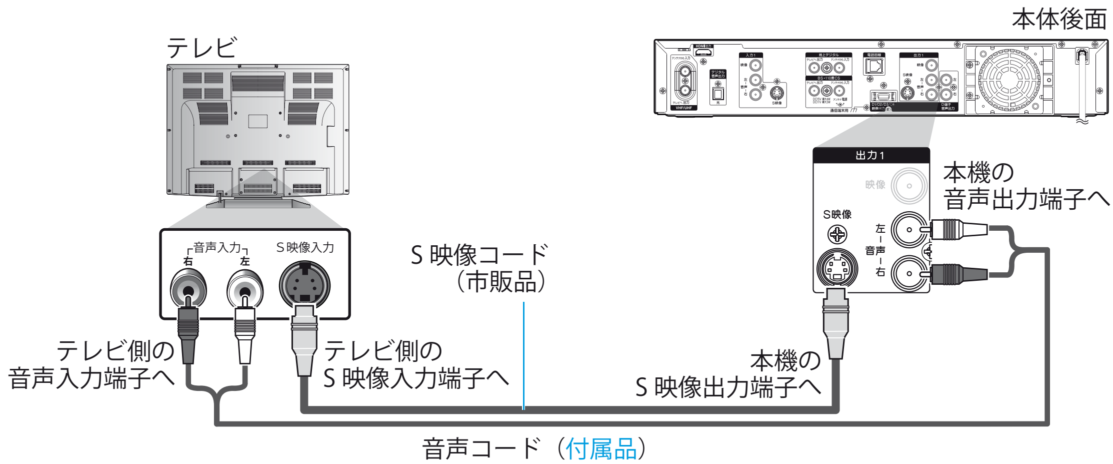
本機の映像を見るときは、テレビの入力切換を本機が接続されている入力に切り換えてください。



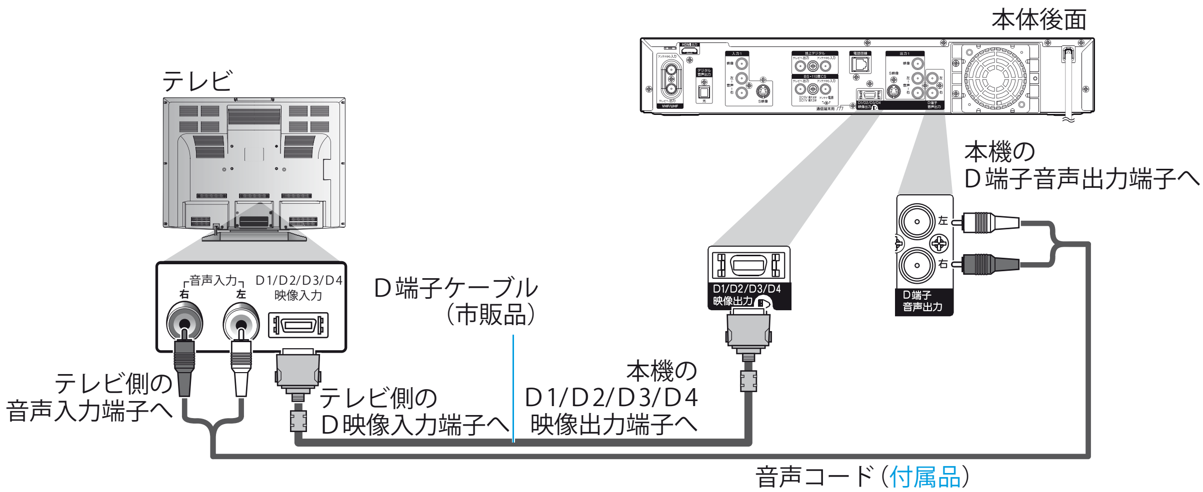
Point

- テレビ側に映像/音声入力端子が備わっていない場合は、本機と接続できません。
- ワイドテレビ（16:9）に接続した場合は、【セットアップ】画面の【映像・音声設定】-【テレビ画面サイズ】の設定を変更する必要があります。（参照 156ページ）
- モノラル音声のみのテレビと接続する場合、音声出力端子左（白）とテレビの音声入力端子を接続してください。

◉S映像入力端子付きテレビに本機を接続するとき



◉D映像入力端子付きテレビに本機を接続するとき



コンポーネント映像出力端子(D映像出力端子)とは

コンポーネント映像入力端子(D映像入力端子)を備えたテレビやモニターとD端子ケーブル(市販品)を使って接続することで、さらに高画質な映像を楽しむことができます。
コンポーネント映像入力端子(D映像入力端子)の名称はテレビメーカーごとに異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

D端子の映像が正常に映らない場合は

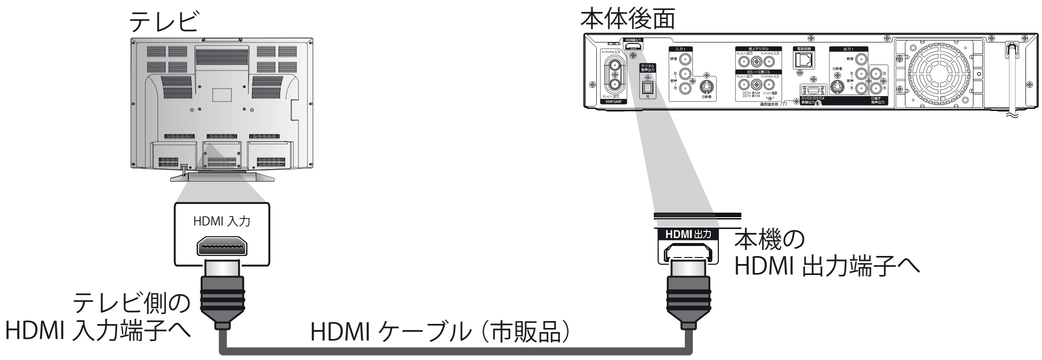
HDMI出力端子とD映像出力端子は、いずれか一方のみを接続してください。同時接続すると、HDMI出力端子側が優先となりD映像出力端子からは映像が出力されません。D映像出力端子からの映像が正常に映らない場合は、【D端子解像度設定】の【D1】、【D2】、【D3】、【D4】が正しく設定されていない可能性がありますので、以下の手順でご確認ください。

1 リモコンを本体に向けて、停止中に 一時停止 [II] を4秒以上押し続ける

【セットアップ】画面の【映像・音声設定】－【D端子解像度設定】の設定が初期設定【D1】に戻り、画像が正常に映ります。

2 ご希望の設定が【D2】、【D3】、または【D4】の場合はさらに、【D端子解像度設定】にしたがい設定を行う (参照 155ページ)

◉HDMI入力端子付きテレビに本機を接続するとき



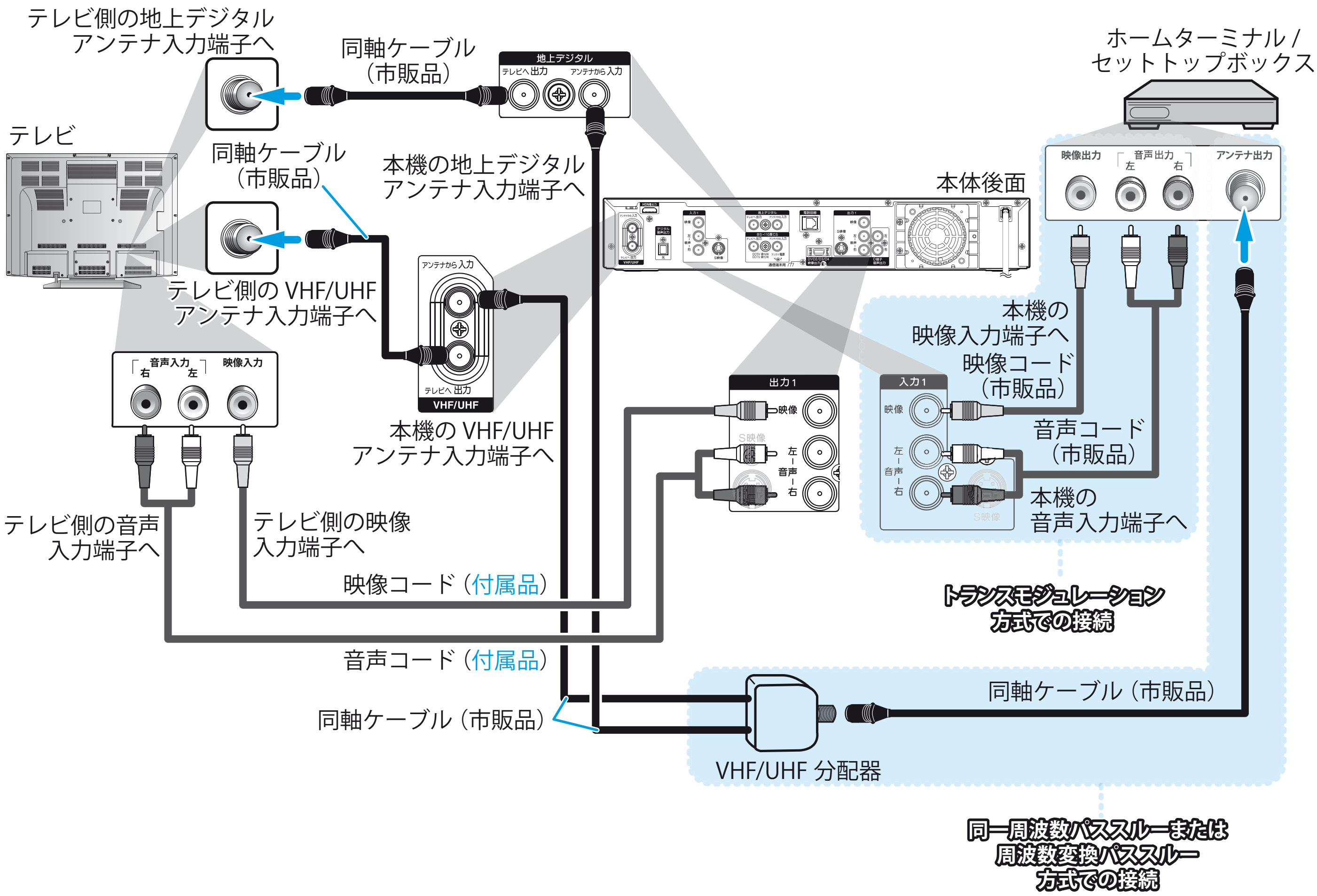
Point

- 本機のD映像出力端子とHDMI出力端子の両方を同時に接続している場合、HDMI出力端子からのみ映像・音声が出力されます。
- HDMI接続時もD端子音声出力端子から音声が出力されます。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやまた、DVI-HDMI変換ケーブルには対応していません。
- 市販のHDMIケーブルを接続する場合、コネクター部の大きさや形状によっては接続できない場合があります。
- HDMI出力端子を接続する場合のご不明な点は、接続する機器のメーカーにもお問い合わせください。
- 接続する機器によっては、HDMI出力端子から正常に信号が出力されない場合があります。この場合はほかの映像出力端子をご利用ください。
- 接続後は 機能 を押して、▲▼◀▶で【セットアップ】を選び、【HDMI】で各設定を行ってください。(参照 158ページ)

◉ケーブルテレビ（CATV）のホームターミナルやセットトップボックスと接続するとき

ケーブルテレビ（CATV）の放送を視聴する場合、あらかじめケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。

使用する機器や接続方法は、ケーブルテレビ会社によって異なりますので、詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。



ケーブルテレビ（CATV）の伝送方式について

ケーブルテレビ（CATV）には、以下のような伝送方式があります。詳しくは、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

伝送方式	特徴	本機の対応
トランスモジュレーション方式	放送局から受信した電波をケーブルテレビ局の電波に変換して送信する方式です。CATVホームターミナルの映像・音声出力と本機を接続すると、CATVの番組を本機で録画することができます。CATVホームターミナル側の接続については、CATVホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。	○
同一周波数パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送が変換されずにそのまま伝送される方式です。CATVのアンテナと本機を接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○
周波数変換パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送をCATVで伝送可能な周波数に変換して伝送する方式です。CATVのアンテナと本機を接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○

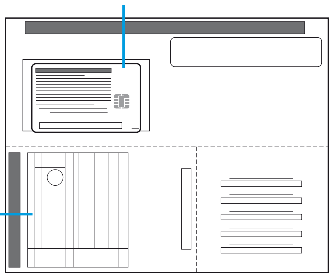
Point

- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナルやセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

◉B-CAS（ビーキャス）カードについて

デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信する場合は、B-CASカードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ、本機に挿入してください。地上アナログ放送のみを受信している場合は、この手順は不要です。

B-CASカード（付属品）



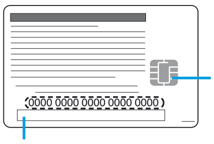
ユーザー登録は必ず行ってください

- はがきまたはホームページでユーザー登録をしてください。（登録は無料です）

B-CASカード

絵柄表示面　　説明表示面





B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。

Point

- **B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。**（参照 166ページ）
- 「B-CASカード使用許諾約款」を、よくお読みください。
- 付属のB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS「（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

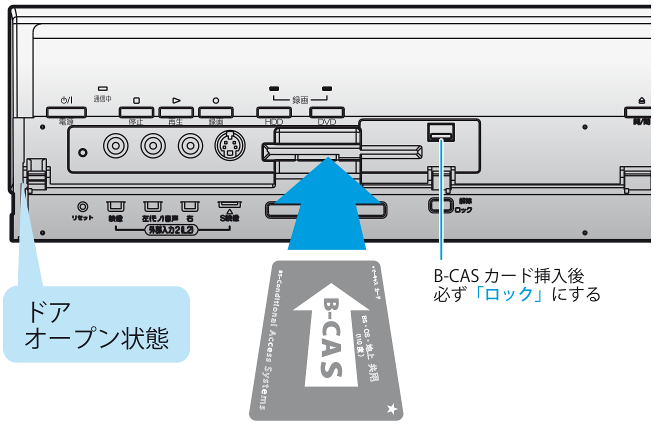
B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

B-CASカードについてのお問い合わせは
（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ
カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250　受付時間 **10:00～20:00**

B-CASカードの入れかた

地上アナログ放送やCSデジタルの無料放送などを受信する場合は、この手順は不要です。



1 本機の電源が切られていることを確認し、本体前面のドアを開ける（参照 30ページ）

2 B-CASカードの絵柄表示面を上にして挿入口方向に合わせ、水平に挿入する

3 B-CASカード挿入口の右にあるスイッチを「ロック」にする

- B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を「切」にした状態で行ってください。本機のご使用中にB-CASカードを抜き差しすると、視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

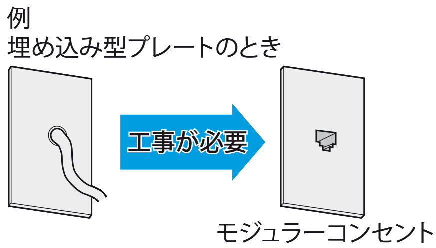
1 本機の電源が切られていることを確認し、本体前面のドアを開ける（参照 30ページ）

2 B-CASカード挿入口の右にあるスイッチを「解除」にする

3 ゆっくりとB-CASカードを抜く

◉電話回線と本機を接続するとき

有料番組や視聴者参加型番組を楽しみたいときは、
電話回線との接続が必要です。



まず、電話回線コンセントを確認してください

- モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。

工事をされる場合は

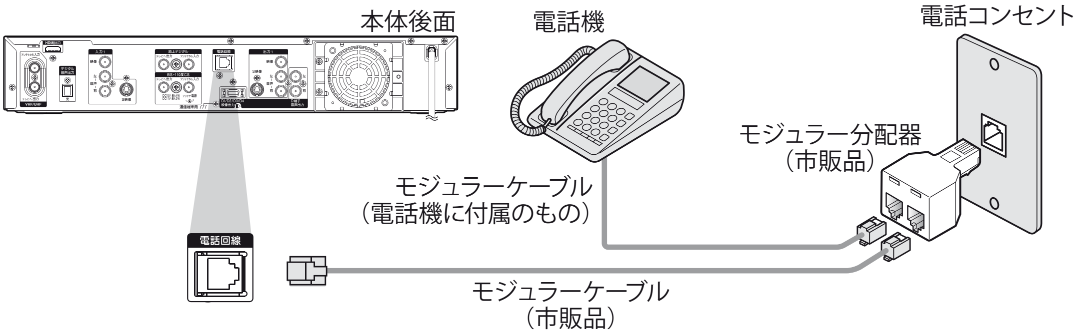
- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければできません。
  ご購入の販売店もしくはNTT営業所へご相談ください。

次の電話回線には接続できません

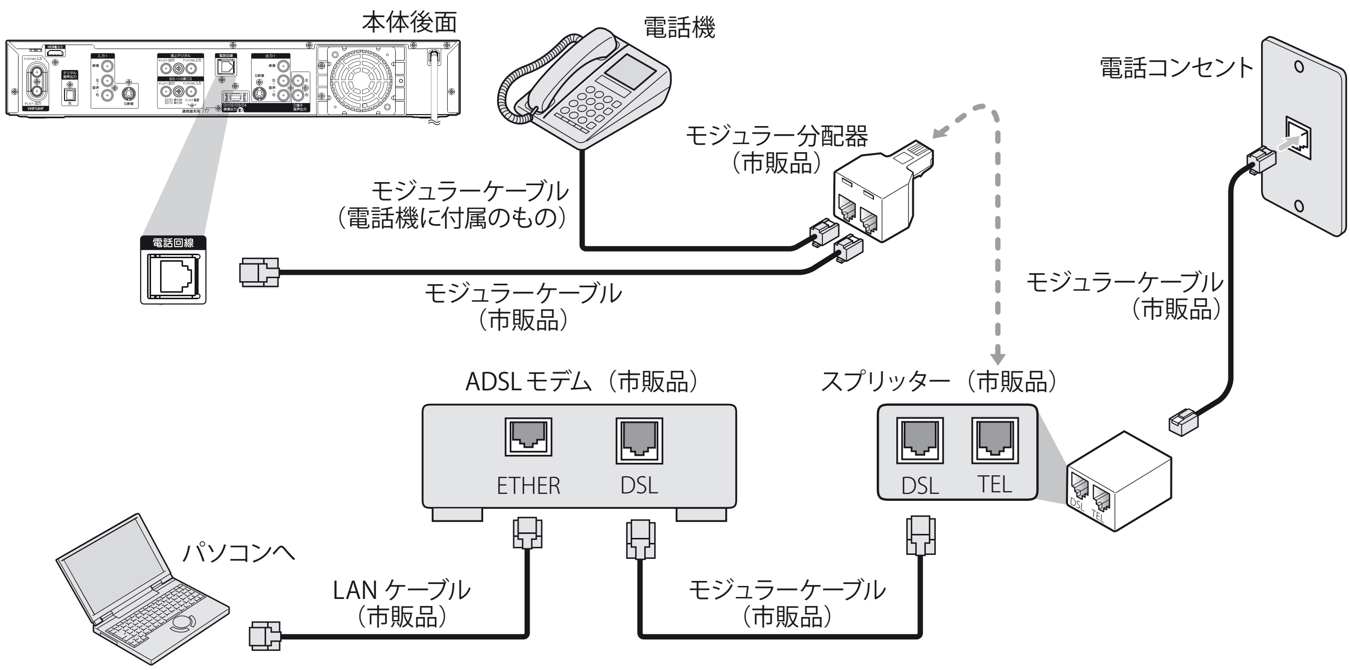
- ISDN回線。（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます。）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
- ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターを接続している場合。）

本機に接続する電話回線の種類によっては、正常に動作しない場合があります。詳しくは電話会社にお問い合わせください。

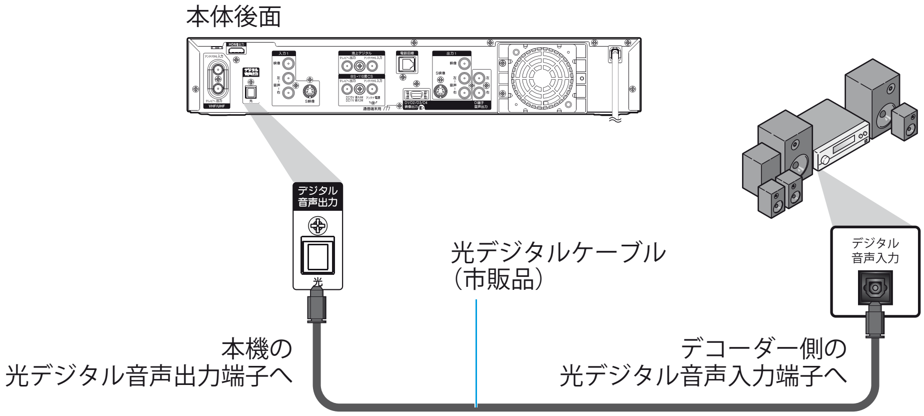
電話回線との基本接続



電話共用タイプのADSL電話回線との接続



◉光デジタル音声入力端子付きAV機器と本機を接続するとき

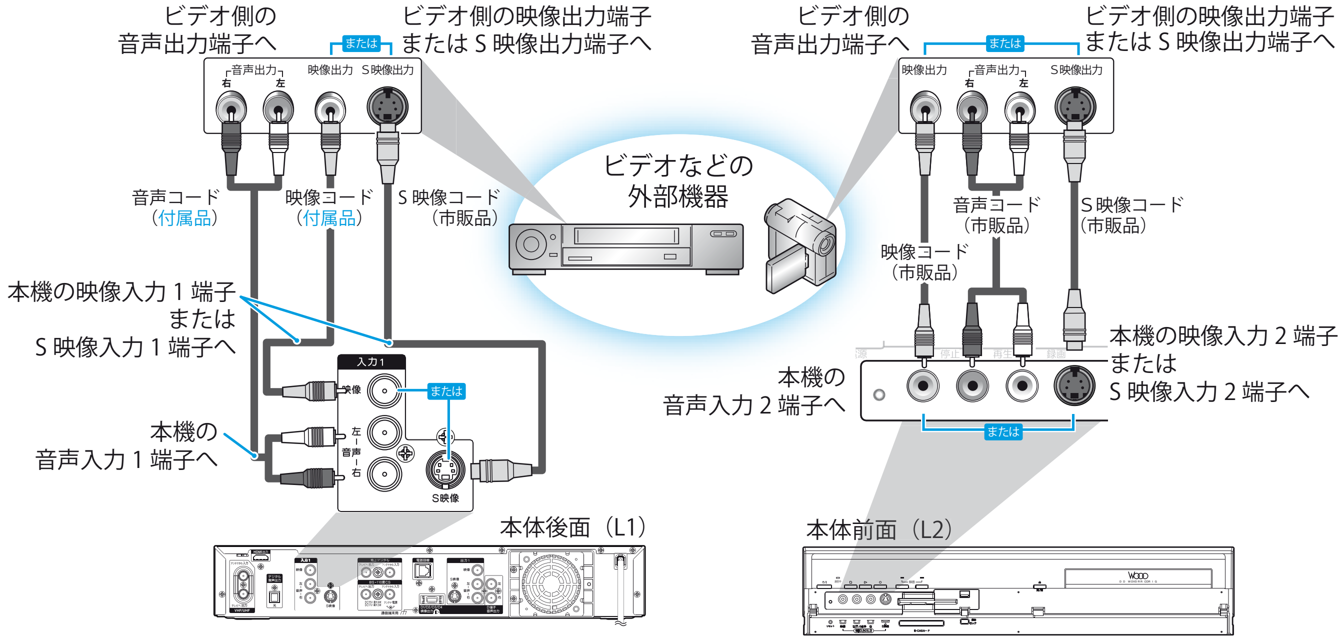


Point

◆ 光デジタル音声出力端子を接続したときは、準備完了後、接続する機器に合わせて【セットアップ】画面の【映像・音声設定】－【音声設定】の設定を変更してください。正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

◉ビデオなど（外部入力）と接続するとき

ビデオなどの外部機器を本機の外部入力端子（前面/後面）へ正しく接続してください。



Point

◆ 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

